

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【石川県・七尾市】

1 実践テーマ	【Vスポーツに対する興味・関心の向上, スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	七尾市立和倉小学校 【第1部】63名(1, 2, 3年生) 【第2部】58名(4, 5, 6年生)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名(道徳) ②行事名() ③その他() (2) 地域における活動 ①イベント名() ②その他()
4 目標 (ねらい)	より高い目標を立て, 希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする心情を育てる。1-(2)希望・勇気・努力
5 取組内容	14:05~【第1部】1, 2, 3年生 ○開会あいさつ ○紹介ビデオの視聴 ○講師紹介 ○実技・交流 ・マラソンを走るときの3つのポイント「①手は生卵を握るように優しく握る②うではひじを曲げ, 伸ばさないようにしてふる③目は足元ではなく, 前を見る」を教わり, 動き作りをする ・赤羽さんとリレー対決をする ○感想発表    

14:40～【第2部】4, 5, 6年生

○開会あいさつ

○講師紹介

○講演「笑顔と素直な心」

- ・紹介ビデオの視聴
- ・オリンピックの体験談
- ・夢に向かってチャレンジすること

○実技・交流

- ・マラソンをするときの3つのポイント「①手は生卵を握るように優しく握る②うではひじを曲げ、伸ばさないようにしてふる③お尻の筋肉を使って走ろう」を教わり、動き作りをする
- ・赤羽さんとリレー対決をする

○質疑・感想発表

○児童代表あいさつ



6 主な成果

講演では、「笑顔」でいれば新しい出会いやチャンスがあること、「素直な心」をもって取り組むことで新しい世界に出合ったり、新たな発見ができたりすることを、体験を踏まえて教えていただきました。そして「諦めない気持ち」「色々な人に支えてもらっていること」「スタート前は自信を持つこと」など、校内マラソン大会だけでなく、目標に夢をもって取り組んでいくことのすばらしさを教えていただきました。交流でも、走るときのポイントを丁寧に教えていただき、それを生かした動き作りで児童とともに汗を流しました。校内マラソン大会に向けて、がんばる意欲を持つことができた児童がたくさんいました。

児童感想「あかばさんがおしえてくれたことをまらそんたいかいでもがんばります。(1年)」「赤ばさんにはやくはしれるほうほうを教えてください。(2年)」「赤羽さんは、走れなくなったこともいっぱいあったけど、夢をあきらめなかったといっていました。わたしも、ゆめをあきらめないようにします。(3年)」「私は赤羽さんとの交流会をして、速く走れる方法や、あきらめない強い力というのを学びました。速く走れるようになるのは自分の努力

	<p>と、自分を支えてくれたりしてくれるみんなのおかげだということが、お話を聞いてわかりました。(4年)」「オリンピックに出ている人は、いろんな人と関わっていることが心に残りました。私の中で、オリンピックにでる人は、一人で地道に努力するイメージがあったので少しおどろきました。オリンピックに対する興味を持てたので、よかったです。(5年)」「私は赤羽さんの言葉で心に残ったのは「スタートは自信をもつ」という部分です。私は陸上の大会でスタートのときに自信がなくなってしまうので、スタートのときには、赤羽さんと同じように自信を持てるようになりたいです。いつでも笑顔で素直な心でいることをがんばりたいと思いました。(6年)」</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>校内マラソン大会がこの後予定されており、それに向けて長休みにチャレンジマラソンに取り組んでいる。マラソンに対して意欲の低い児童も見られるので、そのような児童も自分の目標と赤羽さんから教えていただいた走る3つのポイントを意識して走るように声かけをして、やる気を持てるようにこの事業の日を設定した。</p>
8 主な課題等	<p>交流の時間が延びてしまい、余裕がなかった。時間割に合わせるのではなくもう少し余裕を持って活動できるように設定するべきであった。また、今回はマラソン大会に繋がる取り組みとして考えていたため、交流は運動場で行なう予定でいたが、雨のため体育館で行なうことになった。児童は満足していたようであるが、体育館での活動を人数なども踏まえ別案としてしっかり計画を立てておくことが必要だった。</p>
9 来年以降の実施予定	<p>オリンピック選手と交流することは、児童にとってとても有意義な時間であることがわかった。オリンピック・パラリンピック選手との交流の機会をもっていきたい。</p>